

高齢者食の自立支援事業

【福島県伊達市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【介護・福祉分野】

伊達市では、多様化する要望の中から、高齢者の皆さんの安全・安心を優先する施策に取り組んでいます。配食サービスでは、地産地消をはじめ、栄養バランスよく、そして対面による声かけ・安否確認を行っています。



伊達市 高齢福祉課長 佐藤芳明さん

事業概要

地元の安心安全な食材を活用した栄養バランスのとれた食事を調理し、昼食時に配達することで毎日の健康維持を図るとともに、配達は必ず手渡しとし、高齢者等の安否確認を行っています。万一、利用者に異常があれば関係機関及び家族へ連絡を行っています。利用者からは、食材費・調理費用として、1食あたり390円を負担していただいています。

福島県



伊達市

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

福島県 0.34倍(季節調整値)
福島管内 0.29倍(原数値)
(平成21年7月)

委託先

伊達みらい農業協同組合

新たな 雇用創出数

合計 11人

事業費

1,575万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年9月～

対象者

- (1)65歳以上のひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯
- (2)日中ひとり暮らしとなり自分で調理が困難な高齢者
- (3)心身の障がいにより調理が困難な方



《「お届けに、いざ出発！」》

スタッフの
みなさん

地元産食材でバランスの取れた弁当を真心こめて
お届けします。



《「真心こめて調理しています」》



《「私たちがお届けします。」》

←「初回配達の日です」
もちろん地元産のご飯がつきます》

利用者の皆さま
からの声

○「栄養のバランスがとれ、地元産の安心食材を使った
お弁当がうれしい」です。
○毎日は、様子を見に行くことができないので「安否確
認」してもらえるので安心。

今後の姿と課題

○サービス開始から、利用者・配食数ともに順調に伸び
ています。今後は、地域包括支援センターや介護事業
者と連携を強化しながら、サービス提供の範囲を拡大し、
利用者と従事者の雇用の確保に努めていきたいと考えて
います。
○課題は、中山間地では利用者が点在し、道路事情から
時間的なロスがあるので、効率よく配食できる体制の
検討が必要と考えています。

伊達市 健康福祉部
高齢福祉課長 佐藤芳明さん

「弁当配達だけでなく、声かけや安否
確認など、いつもありがとう」



《「お待たせいたしました」「いつもありがとう。」》

事例紹介

コミュニティ・カフェ(就労体験事業所&居場所)事業 【新潟県新潟市】

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【介護・福祉分野】

新潟地域若者サポートステーションの開設から3年目を迎え、登録利用者は500名を超え多くの若者から利用されていますが、若者の社会的自立に向けて、さらに支援を強化するため、利用者の安定的な就労体験(ジョブトレーニング)の場及び居場所を提供します。この事業に対する関係者の期待は非常に大きいと言えます。

(新潟市商業振興・雇用対策課雇用対策室室長 笠原さん)

事業概要

若者の職業的自立支援のために新潟地域若者サポートステーションと連携し、就労体験事業所及び居場所を提供することにより、若者の社会参加、社会復帰への一助とするもの

委託先

ささえあいコミュニティ
生活協同組合新潟

新たな 雇用創出数

3人

事業費

約702万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年9月～

新潟県 新潟市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

新潟県 0.44倍(季節調整値)
新潟管内 0.57倍(原数値)

業務内容

ニートやひきこもりといわれる若者の就労体験事業所及び居場所を設置し、毎日2人程度のジョブトレーニング希望の若者を受け入れ、仕事をする事の素晴らしさ、喜びを感じてもらい社会的に自立してもらうため、次の事業を実施する。

公募事業!

【喫茶・ランチ事業の有料実施】

コーヒー・ランチの一般客への提供等

【地域への配食サービス事業の有料実施】

地域の希望する方々への弁当の配食等

【サポステ利用者等の居場所づくり事業の無料実施】

サポステ利用者をはじめ、地域の高齢者等の居場所的機能の実施





市中心部の白山神社に近く、静かな通りにある
小さなお店です。

米はもちろん新潟産
コシヒカリ！

この日のごはんは
五穀米でした。

あなたも癒されに
来ませんか・・・



季節の野菜をいっぱい使った健康日替わりランチ

スタッフの 皆さんの声

お店がオープンしたばかりですが、最近やっと慣れてきました。ランチのほかにも、地域の団体からお弁当の注文を沢山いただく日もあります。若者や地域の皆さんの居場所として雰囲気の良いお店づくりをしていきたいと思ひます。

今後の姿と 課題

サポステと連携し、毎日2人程度のジョブトレーニング希望の若者を受け入れ、お店のスタッフとして手伝ってもらい、社会復帰の一步となる就労体験事業所を目指します。また、若者などを対象としたイベントなどを開催し、より身近な居場所づくりを行います。

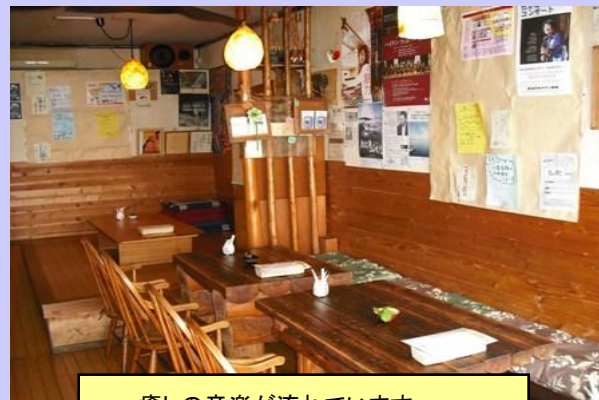
ささえあいコミュニティ
生活協同組合新潟

常務理事 武田さん

現在、地域のコミュニティ協議会や自治会などの各団体に、事業の趣旨を理解してもらい積極的に利用してもらうために、説明に伺っているところです。今後、多くの皆様からお店を利用してもらえるように頑張りたいと思ひます。



ランチの準備をするスタッフの皆さん



癒しの音楽が流れています。

小規模作業所等授産製品の販路拡大委託事業(販売促進専門員) 【福岡県:福岡市】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

市民や企業の皆さんに障がい者施設商品等の良さをもっと知っていただけるよう取り組んでいきます。



社会福祉法人
福岡たちばな福祉会
管理者 末松 忠弘さん

事業概要

小規模作業所など障がい者施設の製品や受託作業等の受注拡大を図り、障がい者の就労を支援するため、授産製品のアンテナショップ「ときめきショップ」に販売促進員を配置して、民間企業や行政機関等への啓発、販売促進活動等を行う。

福岡県 福岡市



委託先

社会福祉法人
福岡たちばな福祉会

新たな雇用創出数

1人

事業費

495万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

福岡県 0.44倍

業務内容

- ・授産製品や各種受託作業など施設における活動のPR。
- ・受託作業の新規開拓や施設間連携の強化。
- ・企業ニーズの把握や共同制作商品の企画 など。



《一日約3万人が乗降する薬院駅で営業する「ときめきショップ」》

販売促進に取り組んだところ、
どんぐり村(佐賀市)で福岡市
内の20か所の障がい者施設
で作られたお菓子や雑貨を販
売させていただくことになりま
した。



福岡市 ときめきショップ
販売促進員 柳田 真理さん

今後、大型商業施設などにも
施設商品販売コーナーの
設置など販売先拡大を働き
かけていきます。

販促先 からの声

「どんぐり村」の物販部門に福岡市の障がい者施設の商品コーナーを設置したところ、とても好評です。福岡市からの来場者も多いので、福岡市内にどんな施設があるか知っていただければと思います。

どんぐり村は、佐賀県佐賀市
三瀬村にある自然・動物との
ふれあいを楽しむテーマパ
ークです。年間20万人の方に
ご来場いただいています。



今後の 姿と課題

新たな顧客ニーズの発掘・把握と、大量受注に対応できる製造体制の仕組みづくりが課題です。
販売促進員による販路拡大活動を充実させていきたいと考えています。

(福)福岡たちばな福祉会
管理者 末松 忠弘さん